

北海道の木のえほん

一本の木から広がる世界

「北海道の木のエほん」は、北海道の豊かな森林に生育している樹木について、それぞれの木の独自の生態や四季の観察ポイント、やってくる生きものとのつながり、私たちのくらしとのつながり等たくさんストーリーを紹介しています

エゾマツ

マツ科
トウヒ属
樹高
30~40m

四季の観察ポイント

春 雌花は前年の枝先につく

雄花

幹の中の虫を食べるクマゲラ

夏

葉は先がとがる葉の付け根には凸型の突起(葉枕)が目立つ

秋

完全に熟した松ぼっくりは枝先に垂れ下がる

種子

冬

冬芽は三角で松ヤニに覆われる

樹皮はアカエゾマツと比べてなめらか

種を食べるヤツバキクイムシ

種を食べるエゾリス

枝は垂れ下がりとドマツより優しい印象

リン子・絵日記

今日のエゾマツ登山に来てみます。

あれはエゾマツの倒木更新だね

エゾマツの種や幼い木は菌にとっても弱いから

運よく倒れた木の上に落ちた種だけが生き残るんだ。

成長して根元の木がなくなると空洞ができて「根あがり」になることもあるよ。

エゾマツは40mにも育つ森のシンボルだ

しかし「北海道の木」として親しまれ、優れたエゾマツを回復させようと様々な取組みが進められているよ。

あ！クマゲラだ。

コンテナ苗での成長試験

エゾマツは成長が遅く、苗木を育てるのに6年もかかるうえ、霜や病害虫に弱いことから、造林が難しく数が減ってきた。

エゾマツは木目がまっすぐで美しく、曲げ加工しやすいことから、建築材や家具材、ギターやバイオリンといった楽器材に活用されてきました。

アイヌ民族のエゾマツ

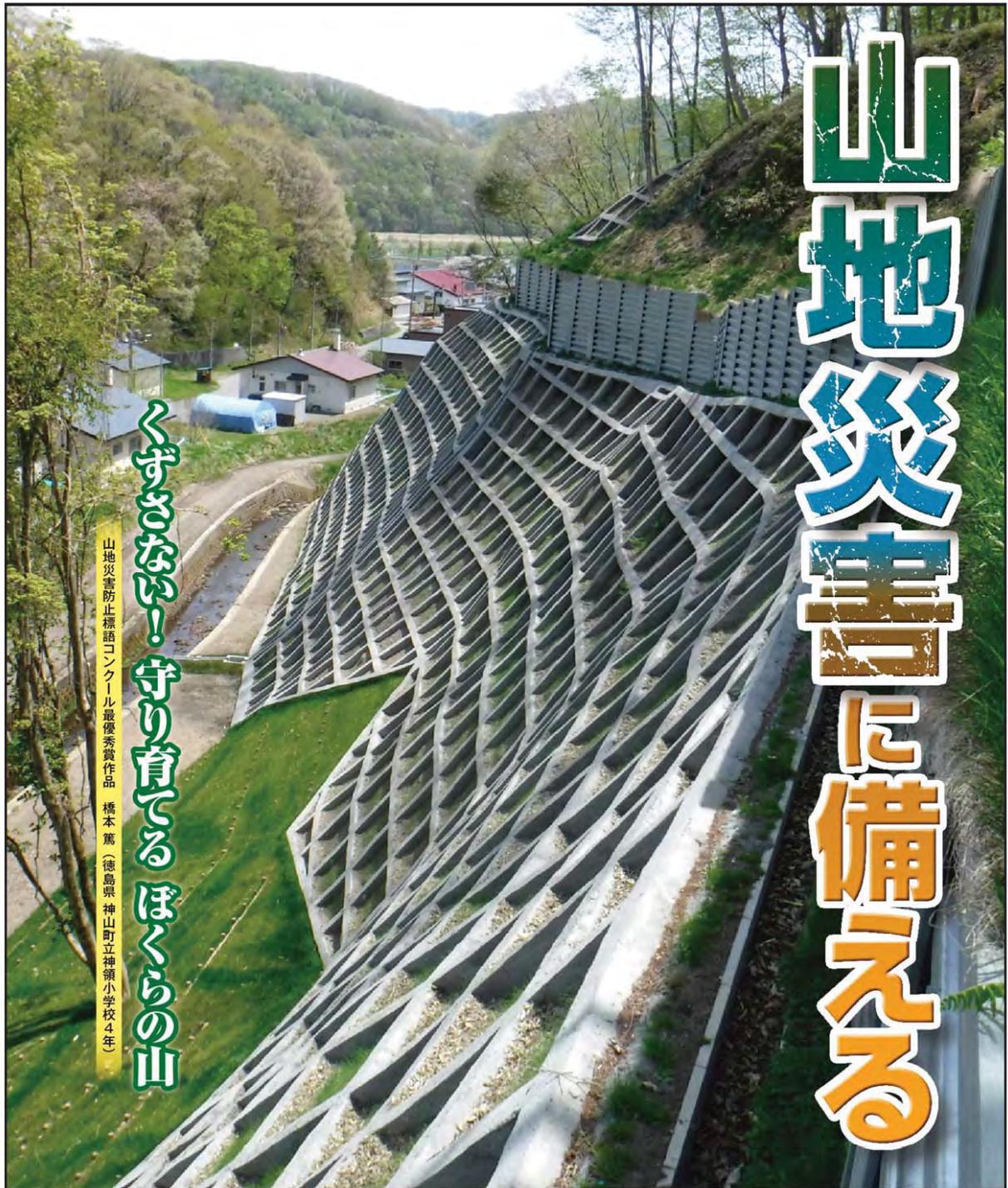
エゾマツの枝は垂れ下がり、屋根のようになることから、冬にエゾマツの下で火を焚くことで命が助かった話があります。また松ヤニは赤切れの薬にしたそうです。

また繊維が長いため、パルプ材にも最適です。

このほか、トドマツ、シラカバをホームページに掲載しており今後随時、作品を追加掲載する予定です！
画像もホームページからダウンロードできますのでご利用ください。(商業利用は除く)

他の樹木は、こちらからご覧いただけます。





山地災害に備える

くずるなぞー！守り育てるぼくらの山

山地災害防止標語コンクール最優秀賞作品 橋本 篤 (徳島県 神山町立神領小学校4年)

▲山地災害防止写真コンクール最優秀賞作品 加勢 時人 (北海道 浦河町)

令和2年度 山地災害防止キャンペーン



期間 令和2年 5月20日(水) — 6月30日(火)
主催 林野庁 / 都道府県 / 市町村
協賛 (一社)日本治山治水協会

もり
 広報 「北の森林 国有林」6月号
 発行 林野庁北海道森林管理局
 編集 総務企画部 企画課
 〒064-8537 札幌市中央区宮の森
 3条7丁目70
 I P 電話 050-3160-6300
 電 話 011-622-5213
 F A X 011-622-5194
<https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/>

今月の表紙
 利根別自然休養林は、JR岩見沢駅から3km程離れた、約350haの丘陵性の孤立した森林です。
 広葉樹が多く、新緑や紅葉など、四季折々の景観が楽しめます。数多くの野鳥が繁殖地として利用しています。
 林内には、遊歩道がありスケジュールにあわせて散策を楽しめます。